



40周年記念誌

**NPO法人 ふじみ野
明るい社会づくりの会**



NPO法人 ふじみ野明るい社会づくりの会

〒356-0053

ふじみ野市大井2-15-10

うれし野まちづくり会館2階

電話：049-293-6266

ホームページ：<http://meisya.starfree.jp/meisya.html>

目次

幸せ	1
北沢 紀史夫	2
創立40周年に寄せて	3
秋葉 忠利	3
創立40周年を祝して	4
高畑 博	4
資源回収事業	5
支え愛事業	6
料理・食事会	7
支え愛「大人塾」	8
夢のルミエール・ビバン	9
40年の歴史・年譜・写真	10



幸せ



特定非営利活動法人
ふじみ野明るい社会づくりの会
代表理事 北沢 紀史夫

会員はじめ関係機関の皆様のお力添えで、当会は、40周年を迎えることが出来、感謝申し上げます。当会の20周年誌で初代会長黒水さんは「今後10年、20年先には花を咲かせ、実がなることを確信し」と記されています。それから20年経ち、先輩た

ちが蒔いてくださった思いやりの種が、少しは花を咲かせることが出来たのではないかと思えます。当会の30周年記念事業で始めた高齢者支援事業の「支え愛センター」は、この10年間利用者数は増え続けていくからです。

支え愛センターのボランティアは、満面の笑みで「人に喜んでもらえ、嬉しい、ありがたいと言われると元気になる。ちよつとしたことができないう人が多いのを見ると、自分が動けることがありがたい。病人に付き添えることが幸せ。生活のリズムが規則正しくなり、一日を有効に過ごせるようになった。ボランティア活動で貰った商品券で米と肉が買え助かっている。

多くの人との出会いで視野が広がった。葉を飲んでいたがボランティアで忙しく飲むのをわすれてしまった」と言います。ふじみ野市は、「支え愛センターが頑張ってくれたので介護保険料を3年間据え置き出来た」と言います。

しかし、問題は、新規ボランティア数は利用者数の増加に追いつけないこと及び活動中のボランティアの高齢化により減少するため慢性的ボランティア不足です。そこで、ボランティア精神啓発のため

の「支え愛大人塾」や「支え愛自衛隊コンサート」など大型のイベントを開催し募集活動をしています。

ところが、これまでの40年間の活動は、支える側と支えられる側との関係でした。しかし、人生百年時代では、この関係は成り立ちません。自分で出来ることは自分でしなければなりません。支える側が不足のために若い世代の支えが必要で、そこで、大学生と共に、全員が、買い物、料理、食事をして、歌ったり、絵手紙、マージャン、百人首など思い思いが好きなおことをして1日を過ごす新しい事業「ルミエール ビバン」を始めました。学生は、人生経験豊かな高齢者から生活の知恵を学び、高齢者は孫世代の学生との交流で大喜びです。

私たちの合言葉「あなたのいい顔見たい」は、「弱いものを助けるべき。与えることは受けるより幸い」ということだと思えます。与えることは、古今東西を問わず真理です。あなたの良い顔を見させても歩む多くのボランティアの満足感の中に「明るい社会づくり」の姿を見させてもらい、幸せを感じています。この幸せが、今後の20年、40年に引き継がれて、幸せで満たされることを確信しています。



特定非営利活動法人
明るい社会づくり運動
理事長 秋葉 忠利

創立40周年に 寄せて

「ふじみ野明るい社会づくり運動」が創立40周年を迎えられましたこと、誠にありがとうございます。

「明るい社会づくり運動」が提唱されたのは、昭和44年のことでした。その後、各地区に「明るい社会づくり運動」の輪が広がっていきました。そうしたなかで、昭和56年にふじみ野明るい社会づくり運動が創立され、以来、長きにわたって地域に根差した活動を続けてこられたことに敬服致しております。

昨年は、明るい社会づくり運動は提唱50周年を迎え、記念大会を開催しました。その「大会宣言文」のなかで、明社運動の目標をみなさまとともに再確認をしました。それは、「あつ

たかい」「ほっとけない」「ゆずりあい」「やぶえあい」「まもりたい」を象徴する価値観が当たり前になる社会の実現です。

21世紀の世界は、環境や核兵器、経済格差等の大問題を抱え、さらには新型コロナウイルスが未曾有の危機を引き起こしています。と同時に、私たち一人一人が自らの魂と向き合い、人間として生きる意味を問い掛け確認する素晴らしい機会にもなっています。そして、明社に代表される私たち市民の手によってこの危機を乗り越え、新しい時代に至る道が開けるものと信じています。輝ける未来を見据えながら、足元にしっかりと力を入れて、仲間とともに一歩ずつ前に進んでいただければと思います。みんなで力を合わせ、より良い社会を築いていきましょう。

関係者各位のご尽力に心から敬意を表し、お祝いの言葉とさせていただきます。



ふじみ野市長
高畑 博

NPO法人ふじみ野 明るい社会づくりの会 創立40周年を祝して

この度、明るい社会づくりの会が創立40周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。また、北沢代表理事をはじめ、貴会の皆様には、日頃より本市の高齢者福祉行政に、温かいご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

明るい社会づくりの会は、発足以来、「あなたのいい顔見たい」をモットーに、地域支え合いの仕組みを実施されております。その活動は、1月当たりの利用時間数が2千時間以上と県内で最も多く、ふじみ野市に

欠かすことのできないサービスになっております。また、「支え愛大人塾」の開講や、文京学院大学・東邦音楽大学の協力による「ルミエールバン」の活動など、活力のある地域づくりにご尽力をいただいております、深く敬意と感謝の意を表すところでございます。

さて、本市では、『みんなで支え合いいつまでも健やかに暮らせるまち』の実現のため、「第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、地域共生社会の推進を図って

いるところです。その中で、住民主体により日常生活に対する支援を行う「訪問型サービスB」について、令和元年度から貴会にご協力いただいております。今後、さらなる事業の発展のため、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、明るい社会づくりの会がこれまでの歴史と実績を礎に、ますますご発展をとげられますことを心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



資源回収 事業

理事
吉岡 薫



ふじみ野明るい社会づくりの会(創設時は上福岡明るい社会づくりの会)が、1981年に出来て4年後の1985年に始まった事業で、今言うSDGs(持続可能な社会)を目標として家庭から会社から出る新聞紙・段ボール・アルミ缶・古着・雑誌・等を毎月最後の日曜日に各事業所や家庭を車三台、乗員二人で廻って回収してくる作業をしています。

こうして集めたものを資源回収業者にトラックで取りに来てもらい総勢9人程で積み込み引き取ってもらっています。

近年は新聞を新聞紙で読む家庭も少なくなり以前に比べて量が少なくな



り、また古紙の価格の下落によって事業収入も年々少なくなってきたのが現状です。

年度末には出してもらっているお客様に対してボックスティッシュをお礼として配っています。

また車を出してもらっているボランティアさんにはガソリン代として1台2000円を会から支給しています。

毎月作業が終わってからボランティアの女性二人に簡単な食事を用意してもらって情報交換の場にもなっています。

支え愛事業

副代表理事
内住 昭雄



平成22年、当会の30周年を記念して新たに始めた「支え愛事業」も10年になりました。高齢者の困りごとを有償ボランティアで助けるといふ事業です。最初ボランティアさんの募集では、ほんとうに集まってくれるのか心配でしたが、今では100人を超える方が賛同し、参加をしております。皆さん高齢の方々です。病院への付き添いや買い物、掃除など毎日たくさんのお仕事を頂き、ボランティアさんがお仕事をしています。この事業の要である事務所の電話対応の方、依頼や集計をスムーズにしているIT班の方など、大



勢の方々に支えられています。10年が経過し、最初は全くの無償だった事務担当、IT担当にも少ないですが謝礼を出来るようになりました。高齢化が進み依頼は多くなる一方ですが、やっていただけるボランティアさんの不足は続いております。今後もこの活動を継続していくには多くの方々の支援、協力が必要です。



理事
南 博



10年間の「レシピ集」

料理・食事会



この会は定年後の人や家に引きこもりがちな高齢者の方達と食を通して、何か生き甲斐を見つけてくれたらと思いい企画しました。

「あなたのいい顔みたい」をキャッチフレーズに市報や知人に呼びかけ多くの参加を得てきました。食事後の感想は「大変美味しかった、皆さんと会話をしながらの食事は楽しい」とこのような声を聞くとレシピを作成し料理を教えて下さった先生方や我々スタッフも大変うれしく思います。楽しく和やかで、弾む会話は人を幸せにします。

平成17年～平成27年の10月に10年間の「レシピ集」も作成されました。

その他、毎年5月に市内の小学3年生に西公民館主催の体験学習で「エスニックカレー」を教えています。可愛い子供たちとの料理も賑やかで楽しく元気をもらえます。お礼のお手紙もかわいらしくスタッフの喜びです。

この会は、令和2年2月の食事会で第150回を迎える事が出来ました。

今日まで、この会を継続して来られましたのは西宮先生、野口先生と学生



さん、金子さん、料理を作るスタッフの皆さん方のおかげ様です。心より感謝申し上げます。「人生100年時代」とも言われておりますが我々スタッフもこれからの人生に弾みを心がけて進んで行きたいと思えます。



西宮ヨシコ先生
美クックトゥ
アートルーム代表

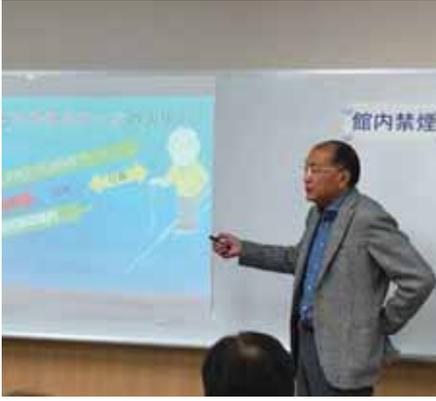


野口律奈先生
帝京平成大学
メデイカル学部
栄養学科准教授

支え愛
「大人塾」実行委員長
谷野 雄一

支え愛「大人塾」 シニア世代の学び舎

人生100年時代豊かなシニアライフを送るには健康とボランティアそして学び続ける事とされています。

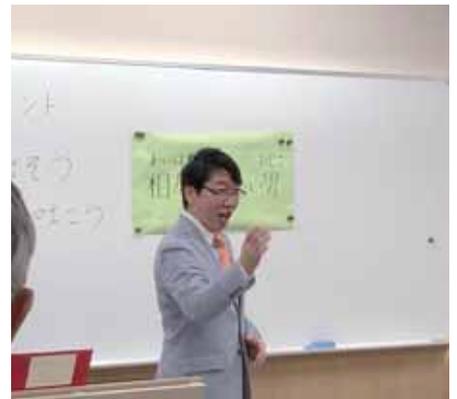


支え愛「大人塾」で学びこれまででの仕事とはひと味違う地域参画、貢献への第一歩を踏み出してみたいかがでしょうか。

シニア世代の活躍が期待されています!!。

支え愛「大人塾」は平成28年の開塾以来大学教授や専門家、お笑い芸人、市職員等を招聘して教養・健康・福祉・音楽・料理教室等々多彩なプログラムを展開してまいりました。

開塾からの4年間に37回講座を開設して延べ1176名の方が受講されました。



令和2年は新型コロナウイルス禍の影響により止む無く休講となりましたが来年に向けて一層充実した講座をお届け出来るよう努力する所存です、ご期待ください。

皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

終わりにボランティア(無報酬)にも拘らず快くご登壇下さいました講師に厚く御礼申し上げます。

また開塾に当たってご指導頂きましたふじみ野市教育委員会教育長の朝倉孝様、同元教育部長の中野則之様から感謝申し上げます。

夢のルミエール・ビバン



「人生百年時代」。これは、今を生きる私たちにとって夢のような時代です。この人生百年時代を見据えて、私た

「ルミエール・ビバン」
実行委員長
中野 則之

ちはこれからどのように豊かで幸せな生活を送るか。この困難で大きな課題に立ち向かうべく研究、検討を重ねたのが文京学院大学馬渡ゼミ

生の皆さんでした。「ルミエール・ビバン」は、その成果を基に誕生した全員参加型の新たな取り組みです。

この「ルミエール・ビバン」は、高齢者や学生など世代を越えて楽しさを共有し、互い



に学び合いながら自ら「輝く人生」(ルミエール・ビバン)を築くことを目指します。デイサービスに行かなくても自分で出来ることは必ずある、ケアなしでも楽しめる。若い方にとっても、シニア世代から人生に対する考え方が学べる等々、ワイン・ウインの関係を肌で実感できます。一緒に食事をつくり食べ、さまざまな遊びに興じる、とにかく笑いの絶えない本当に楽しいひとときです。

この夢のようなルミエール・ビバンはまだ始まったばかりです。ルミエール・ビバンは、これからも人生百年時代を有意義に過ごすため、さらに進化を続けます。まだまだ夢の途中です。

西暦 和暦

会長・副会長・役員

主な出来事
明るい社会づくり運動の取り組み

日本・世界の主な出来事

1981(昭和56)

黒水高典会長
窪田美代副会長
鈴木綱副会長

上福岡明るい社会づくりの会創立

福井謙一氏ノーベル賞受賞
ローマ法王初来日
中国残留孤児来日

1982(昭和57)

嶋田勝弘事務局長
谷田恭司顧問
宮崎智由顧問
折橋通予会計

環境美化運動を開始
歳末助け合い運動を開始
少年野球チームを結成

東北、上越新幹線開通
ホテルニュージャパン火災
日航機羽田沖墜落

1983(昭和58)

七夕まつりに参加
献血運動を開始
通りゃんせ広場に参加

日本海中部地震
三宅島噴火
ロッキード事件田中元首相に実刑判決

1984(昭和59)

1985(昭和60)

家庭教育講座を開始
歳末助け合いバザーを開催
資源回収事業を開始

ロシア、中国香港返還合意文書に調印
つぐば科学万博
日航機御巣鷹山に墜落
ゴルバチョフ氏ソ連共産党書記長に就任

1986(昭和61)

福岡中央公園清掃を開始

チャールズ皇太子ダイアナ妃来日
三原山大噴火
チェリノブイリ原子力発電所事故

1987(昭和62)

1988(昭和63)

親子リズム体操を開始
ユニセフ募金に参加
全国明社「首都圏拓塾」に参加

青函トンネル開業
瀬戸大橋開通
ソウル五輪

1989(平成元)

在宅老人の介護施設ボランティア開始
コミュニティ懇話会への参加

昭和天皇崩御
天安門事件、ベルリンの壁崩壊
消費税3%実施

1990(平成2)

交通安全キャンペーンに参加
福祉団体「げやきの会」への参加

東西ドイツ統合
秋篠宮殿下、紀子さまご婚儀
イギリス、サッチャー首相辞任

1991(平成3)

上福岡明社十周年記念
全国明社大島宏之事務局局長講演
「ツリー・オブ・ドリームス」に協賛

雲仙普賢岳、大火砕流
ゴルバチョフ辞任、ソ連解体
湾岸戦争勃発

1992(平成4)

歳末チャリティーバザーの共催
シラコバト賞を受賞

バルセロナ五輪
山形新幹線開業
きんさん、ぎんさん満100才

1993(平成5)

吉村友希央事務局長
小林延江会計
埼玉県明社「さきたま塾」への参加
第八回明るい社会づくり運動全国大会
右記全国大会において吉野貞夫氏発表

皇太子殿下、雅子さまご婚儀
北海道南西沖地震
細川内閣発足

1994(平成6)

大江健三郎氏ノーベル文学賞
英仏海峡トンネル開通
関西国際空港開港
阪神、淡路大震災
地下鉄サリン事件
ウインドウズ95発売

1995(平成7)

「コスモス植栽」への参加

1996(平成8)

椎葉浩士事務局長

新河岸川清掃事業に参加

日本の原爆ドームが世界遺産に登録
アトランタ五輪
村山富市首相退陣、橋本龍太郎内閣発足

1997(平成9)

「子供まつり」への参加
ウオーケラリーを川越明社と開催
第七回明るい社会づくり運動全国大会

消費税5%へ
サッカーW杯初出場
長野新幹線開通

1998(平成10)

病院ボランティアを開始

長野五輪
明石海峡大橋開通
若貴、初の兄弟横綱

1999(平成11)

都知事に石原新太郎氏が初当選
瀬戸内しまなみ海道開通
ユーロ誕生

2000(平成12)

三宅島噴火で島民非難
ロシア大統領にプーチン氏
シドニー五輪

西暦 和暦

会長・副会長・役員

主な出来事
明るい社会づくり運動の取り組み

日本・世界の主な出来事

西暦 和暦

会長・副会長・役員

主な出来事
明るい社会づくり運動の取り組み

日本・世界の主な出来事

2001(平成13)

吉野貞夫事務局長

全国明社NPO法人化
上福岡明社二十周年記念
全国明社細山裕康事務局長講演

アメリカ同時多発テロ
小泉内閣発足

雅子さまが、愛子さまご出産

2002(平成14)

吉野貞夫副代表

日韓ワールドカップ

北朝鮮拉致者が帰国
小柴昌俊さん、田中耕一さんノーベル賞

2003(平成15)

内住昭雄事務局長

地上波デジタル放送開始

米・英イラク攻撃
阪神十八年ぶりのリーグ優勝

2004(平成16)

北沢紀史夫会長

お父さんの料理教室開催

イチロー大リーグの最多安打記録更新

吉田浩士副会長
鈴木宏枝会計

新潟県中越地震
アテネ五輪

2005(平成17)

料理教室、食事会事業開始

郵政民営化法成立

愛知万博開催
中部国際空港開港

2006(平成18)

十二月二十八日特定非営利活動法人(NPO法人)の登記

「手芸教室」定期開催

トリノ冬季五輪
侍ジャパン第一回WBCで優勝

「癒やし集い」定期開催

秋篠宮悠仁さま誕生

2007(平成19)

「笑顔の集い」開始

夕張市が財政破綻

郵政民営化スタート

年金記録問題

2008(平成20)

「NPO法人上福岡明るい社会づくりの会」より「NPO法人ふじみ野明るい社会づくりの会」に名称を変更

リーマン、ブラザースが破綻

北京五輪

オバマ米大統領誕生

2009(平成21)

「笑顔の集い」開始

民主党へ政権交代

マイケル・ジャクソン急死

松井秀喜がWシリーズMVP

2010(平成22)

「地域支え愛事業」を開始

「NEWS30」放映

ノーベル化学賞に鈴木・根岸両氏

テレビ埼玉「NEWS30」放映

チリ鉱山落盤事故

2011(平成23)

東日本大震災
東電が計画停電
ウイリアム英王子が結婚

2012(平成24)

NHK「おはよう日本」放映
TBS「朝スバ」で「支え愛事業」放映
BS+BS「サタデースコープ2」放映

ノーベル医学賞に山中氏
東京スカイツリー開業、ロンドン五輪
第46回衆議院選で自公圧勝、政権奪還

2013(平成25)

「あしたの町・くらしづくり活動賞」受賞
テレビ東京「NEWS930」放映

中国の国家主席に習近平氏
富士山、世界遺産に登録決定
ケネディ新駐日大使が着任

2014(平成26)

全国明社「全国集会IN京都」に参加
右記全国集会において、北沢代表講演
日本テレビ「news every」放映

ノーベル物理学賞に赤崎、天野、中村氏
若田光一さん帰還
韓国旅客船沈没事故

2015(平成27)

産経新聞に「食事会」記事掲載
市民フォーラム+古川美代子講演会

ノーベル医学賞、物理学賞に大村、梶田氏
北陸新幹線が開業
ラグビーW杯で日本が南アに勝利

2016(平成28)

内住昭雄副代表
武田ルリ子事務局長
栗原かつえ会計

リオ五輪
熊本地震が発生
オバマ米大統領が広島訪問

2017(平成29)

堀尾正明講演会
「プラチナギルド・アワード」受賞

トランプ米大統領、マクロン仏大統領誕生
小池都知事
九州北部豪雨

2018(平成30)

「あしたの町・くらしづくり活動賞、
振興奨励賞」受賞
陸上自衛隊第一音楽隊コンサート

オウム松本死刑囚らの刑執行
財務省が森友文書改ざん
米中貿易摩擦が激化

2019(令和元)

ルミエールビバン事業開始
海上自衛隊横須賀音楽隊コンサート
ふじみ野市より「訪問型サービスB」を受託

天皇陛下が退位。令和に改元
ラグビーW杯日本大会開幕、日本8強
ノーベル化学賞に吉野氏

2020(令和2)

ふじみ野明社四十周年記念
地域支え愛事業十周年

東京2020五輪延期
新型コロナウイルス、世界各地に広がる
安倍総理辞任、菅新総理就任

西暦 和暦

会長・副会長・役員

主な出来事
明るい社会づくり運動の取り組み

日本・世界の主な出来事

あなたのいい顔みたい！

HISTORY



40年の歴史



1985 歳末助け合いバザー



1981 第一回定期総会 窪田副会長



1986 七夕祭り、阿波踊り



1983 交通安全キャンペーン



1989 献血運動



1984 通りゃんせ広場



2007 福岡中央公園清掃



1991 設立十周年記念 黒水会長



2008 癒やしの集い (いやしのつどい)



1993 ツリー・オブ・ドリームス



2008 川越祭、模擬店



2004 手芸教室+癒やしの集い



2010 支え愛事業、チラシ



2008 西公民館まつり 模擬店



2012 NHK「おはよう日本」



2012 TBS「朝ズバ」



2009 理事会



2017 堀尾正明講演会



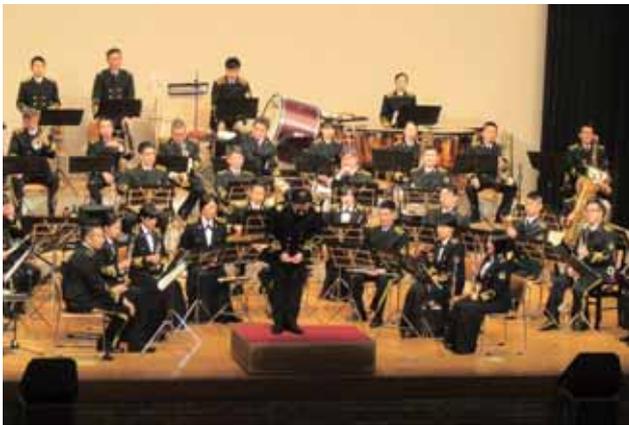
2014 全国集会 in 京都



2018 陸上自衛隊第一音楽隊コンサート



2015 吉川美代子講演会



2019 海上自衛隊横須賀音楽隊コンサート



2017 ふじみ野市産業まつり

編集後記

明るい社会づくり運動は、人間が本来持ち合わせている善意の心、他者の利益を優先する利他主義的な心を信じて、提唱されたと聴いています。

今年は、提唱から51年、ふじみ野明社の設立から40年という節目に当たります。高い志に、多くの方々、理解、賛同し、こつこつと活動を重ねてくださった結果の40年記念誌創刊です。

足跡を皆さんとともに、再認識し、未来に向けた「明るい社会づくり運動」を展開するきっかけになればと思います。合い言葉は、「あなたのいい顔みたい！」

創刊に当たり、NPO法人 明るい社会づくり運動 秋葉 忠利 新理事長、高畑 博 ふじみ野市長、両氏にご祝辞をいただき、心から感謝申し上げます。

又、原稿の執筆、写真の提供等、多くの皆様にご尽力をたまわったことにお礼申し上げます。

2020年11月 編集委員：吉野貞夫(委員長)、内住昭雄、武田ルリ子、吉岡薫

NPO法人ふじみ野明るい社会づくりの会発足40年記念誌 発行年月日 2020(令和2年)年11月吉日

発行責任者 北沢紀史夫 発行所 NPO法人ふじみ野明るい社会づくりの会

〒356-0053 埼玉県ふじみ野市大井2-15-10 うれし野まちづくり会館2階 電話 049-293-6266